

# 藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和2年6月30日  
横浜市立藤塚小学校  
学校だより 7月号  
TEL (351) 2314  
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>

## 通常授業再開へ

副校長 川村 良児

昨年度、4年生のクラスが総合的な学習の時間で材として取り上げ、整備を進めたビオトープ（通称：藤池）に「アサザ」が黄色くかわいらしい花を咲かせています。

第一期（6月1日～12日）の分散登校、第二期（6月15日～30日）の一斉登校午前授業を経て、7月よりようやく通常授業が再開されます。6月中におきましては、分散登校や午前授業にご理解とご協力をいただきましたこと、また、子どもたちを見守っていただきましたこと心より感謝申し上げます。



第一期の分散登校では、久しぶりの登校に子どもたちの嬉しさが伝わってくるのと同時に、クラスの半数の友だちにしか会うことのできない寂しさも伝わってきました。半分が空席といういつもと違うクラスの光景に、子どもたちは戸惑いを覚えているようでもありました。会うことのできない半数の友だちへ、メッセージを伝え合う取組をしているクラスもあり、早くみんながそろって学校生活を送りたいという思いが伝わってきました。

第二期の一斉登校（午前授業）では、入学式・始業式以来、全員がそろっての教育活動の再開に、子どもたちも教職員も笑顔いっぱいになりました。各クラスに活気が戻り、ようやく学校らしさを感じることができるようになってきました。そして、全員がそろったことで、学年開きを行ったり、学級目標について話し合ったりなどすることができるようになりました。また、その日の振り返りに、学習に取り組むことのできた喜びを書いている子どもが多く、とても嬉しい気持ちになりました。

さて、7月より通常授業が再開されますが、今年度より実施される新学習指導要領は、授業時数が削減される中でのスタートとなりました。今回の新学習指導要領には、育成を目指す資質・能力の明確化が打ち出されています。橘中学校ブロック内の学校では昨年度までに、育成を目指す資質・能力を「自分づくり」「言語能力」とし、新教育課程に盛り込んで指導計画の作成に取り組んできました。授業時数は削減されますが、指導内容や目指す子どもの姿に変わりはありません。感染防止対策で、活動の中止や縮小、学習形態の配慮等で例年通りの活動は難しい状況ですが、教科や行事などさまざまな教育活動を通してどのような力を身に付けていくのか。その活動、その単元、その授業一時間一時間のゴールを見据えた計画を立て、指導を工夫してまいります。

保護者・地域ボランティアの皆様との活動や交流、地域の先生のご指導につきましても感染症の状況を確認しながら取組内容を考えて行っていく予定です。感染症が徐々におさまり、以前の生活様式に少しずつ戻っていくことを願いつつ、感染防止対策に努めながら教育活動を進めてまいります。今後とも、本校の教育活動にご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。